



## 「伝統」や「つながり」の中で

～「やる気・根気・勇氣（心の苗木）」を自分で育てる柏っ子～

校長 南館義孝

手びらがねの音色が響く中、約800年の歴史を誇る伝統芸能「八戸えんぶり」が3年ぶりに行われました。本校からも、学区の塩町と十一日町のえんぶり組をはじめ、20名近くの児童がえんぶりに参加し、「大黒舞」や「えびす舞」、「松の舞」などを舞いました。初日の「一斉ずり」の日は温かく、お囃子とともに春の訪れを感じました。児童を温かく指導や世話をしてくださった地域の皆様、ありがとうございます。



### ◆ 今年度のテーマ「思いやり」を振り返った「第3回かしわっ子大会議」

2月3日に、今年度のテーマ「思いやり」について、1年間の振り返りを行いました。各クラスの「思いやり作戦」について、1年間で成長したことやよかったこと、そしてもう少し頑張りたいことなどの発表を行いました。発表した代表児童は、はきはきした声で、とても分かりやすく全校に伝えていました。「困っている人を助けることができた。」



「友達のよいところをみつけることができた。」など、思いやりいっぱい発表がたくさんありました。また、「思いやりのかしわの木」への温かいメッセージがたくさん増えたので、「思いやりのかしわの木 第2弾」を設置することが企画委員会から発表がありました。柏っ子の少しの勇気で、他者を思いやりの気持ちでいっぱいにして、他者も自分も笑顔になるよう、これからも育んでいきます。

### ◆ 引き継がれる、全校を楽しませる「柏まつり」

2月16日、6年生による「柏まつり」が開催されました。このお祭りは、行事等で設定しているものではありませんが、「今までの6年生が、私たち、下の学年のために『柏まつり』をやってくれて楽しかった。私たちも全校のみんなを楽しませ感謝したい。」という、6年生の素敵な気持ちからスタートしました。企画・準備・運営等、全て6年生が主体的に活動して取り組みました。下級生からは「楽しかった。もっとやりたかった。」「6年生が考えたゲームは、レベルが高い。」「私も優しく声がけするような6年生になりたい。」という、声があがりました。6年生は、達成感と満足感の笑みでいっぱいでした。

